



黄金忠博

3月

伝統継承の在り方示す 前田貝揃案創設展



漆工房・前田貝揃案創設展

漆工房・前田貝揃案創設展「玉座—THRONES AS A FRAME」(3月26日～4月3日、ギャラリーアートン) 沖縄漆芸の第一人者、故前田孝允の後を引き継ぎ、前田比呂也、彬、佳那による現代の貝揃奉行所と言えるこの活動は、芸術運動の一つとして、また漆芸という表現媒体の新たな可能性を示した展示会であった。伝統的漆芸技法による花器や螺鈿盆などの作品から、抽象的な乾漆作品、またそこからイメージされたコースジュ作品、さらには日常雑貨やTシャツなど、一つのブランドとして様々な事に展開していく様を見せることで、伝統工芸と現代美術の共存の方法を示しているように見える。この共存は、生活様式、美意識の復興につながる、新たな芸術表現への展開と可能性を感じさせる。また伝統を継承することの在り方を示しているようにも見える。失つてはならない文化の一端を担うべく使命感をもって立ち上げたのだろう。今後の活動に注目し、大いに期待したい。

長 (那覇造形美術学院学院